

令和4年度 今治工業高等学校 シラバス

教科	工業	科目	課題研究	単位数	2単位
学科	情報技術科	学年	3学年		
学習目標	生徒自らが、工業に関するテーマを設定し、計画を立て、製作や調査・研究などを行い、結果を整理・発表し、研究を深めさせるとともに、自ら学び自ら考え、主体的に判断し、問題をよりよく解決する資質や能力を培う。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2 研究テーマ・指導者の決定 研究テーマは、次の領域で行う。 (1) 作品製作 (2) 調査、研究、実験 (3) 職業資格の取得</p> <p>3 研究計画の決定</p> <p>4 研究の実践</p> <p>5 レポート作成</p> <p>6 発表会</p> <p>令和3年度の研究テーマは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Arduinoによるステッピングモータの制御 ・ ブラックホールLEDスピーカの製作 ・ テトリス製作 ・ スピーカ ・ Adobe Premiere Elementsによるムービーの作成 ・ Scratchによるゲームの作成 ・ Unityによるゲームの作成 ・ ラジコン (Wi-fi) ・ ラジコン (Bluetooth) ・ 野球のカウント表示板 ・ デジタル時計 		<p>・ 課題研究の目標を理解している。 【A・B・C・D】</p> <p>・ 課題研究の目標を理解しており、適切なテーマを決定している。 【A・B・C・D】</p> <p>・ 必要な資料をいろいろな手段を用いて、適切に収集することができる。 【A・B・C・D】</p> <p>・ フィードバックを忘れず、内容について検討を加えながら研究しようとしている。【A・B・C・D】</p> <p>・ 内容を精選し、分かりやすくまとめるなど、レポート作成能力を養おうとしている。【A・B・C・D】</p> <p>・ 分かりやすいプレゼンテーションを作成しようとしている。 【A・B・C・D】</p>		
評価の観点	【A】 関心・意欲・態度 【B】 思考・判断・表現 【C】 技能 【D】 知識・理解				
評価方法	計画・実践段階の意欲や態度、中間報告、レポート、発表会におけるプレゼンテーションの総合評価				
教科書等	必要に応じて書籍・インターネット等で資料を収集する。				
備考	個人研究又はグループ研究で行う。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。